

事故速報

報告日：2023/11/28

報告者：砂田 絵里

事故の区分	小事故
事業者名	主管：有限会社カヌースクール九州
発生日時	2023年 11月 28日（火曜日） 14時頃
プログラム (コース)名	JSPA ベーシック&アドバンス検定会 北九州会場 2日目
発生場所	福岡県北九州市若松区大字竹並 126-2 北九州市立玄海青年の家 【頓田野水池】
事故発生時の 気象海況状況	◆強風・波浪注意報発令中 ◆妙見埼灯台の風：13:55W18、14:25W19、14:55W20、15:25W18、15:55W19、 16:25W16、16:55W16、 ◆入り江内でも時折ダウンバースト。ブイの外側では西風による風浪が立つ。
事故発生状況	◆パッカraftの練習中。パッカraftにパドルを置き、手を放して振返った際、 パドルを落としてしまう。その瞬間に一瞬でパドルから離れてしまい回収することができず、航行不能となってしまう。自身が艇から降りて艇につかまり、艇のイカリとなることで、流されにくい状態を作る。
事故発生時の対応	◆一緒に練習をしていた同僚に向けて手を振り、気が付いた同僚がレスキューに向かう。カウテールで牽引レスキューしながらパドルを探すも見つからず、上陸。
事故後の対応	◆ヒヤリハットがあったこと、パドルを紛失したために検定用のパドルを借りたいとのことで、本人から山口 IT に相談があった。その際、「他のボートに助けてもらった」との発言で、「一般市民からレスキューされたのか？」とその後の事を心配された山口 IT から、主管に相談があった。 ひとまず、同僚のパッカraftにより救助されたことが分かり、JSPA 検定中の事故として整理し、報告することとした。
再発防止策	◆パッカraftや SUP などは特に風の影響を受けやすい。また、『アドバンス検定受検者』とはいえ、各自のフィールドによって注意すべきポイントは異なってくる。今後は主管として、現地のフィールド特性をしっかりと伝え、特に個人練習の場合には何に注意すべきか、また、その日の気象条件によっては練習できない場合もある事を判断して練習希望者に伝え、受検者の安全な活動に配慮していかなければならない。 今回の件を参考に、風速などを基に練習の実施基準を検討していく必要がある。